

平成29年度 事業計画

1. 基本方針

ゆるやかながらも景気は回復基調にあり、一方では少子高齢化が一層進み、生産年齢人口の減少が進行する中、私ども高齢者の出番が増えてきております。

こうした背景もあって、ここ3年間の事業高は堅調に推移しており、この趨勢は今年度も続くものと予測されます。

「生涯現役社会」の実現に向けて、社会の担い手としての高齢者が現役世代を支え、人手不足を解消するためにも、積極的な就業機会の確保・拡大を図ってまいります。

第2次中期計画の5つの基本方針を踏まえながら、「仕事の開拓」と「会員の増強」を重点目標として、多様な広報媒体を駆使しPR活動に積極的に取り組んでまいります。

更に、ボランティア活動や地区地域班活動を通してのPR活動も推進してまいります。

従来からの清掃や剪定等の職域に加え、施設管理や商業施設での物品管理等サービス業を中心とした人手不足分野や、介護・育児等の現役世代を支える分野での高齢者に対するニーズが一層高まってきており、就業機会の拡大に取り組んでいるところであります。

また、発注者のニーズの把握に努めると共に、会員の多様な働き方の確保及び受託形態の適正化を推進するため、一般労働者派遣事業にも積極的に取り組んでまいります。

各委員会及び地区地域班、事務局が相互に連携を強化して、情報の共有化を図り、円滑な事業推進に努めます。

2. 基本目標

(1)仕事の開拓 事業高の目標: 6億6千万円

安定かつ、回復基調にあった我が国の経済状況により、センターの受注終了となった契約を上回る受注があり、28年度の事業高は前年度を約4千万円上回り過去最高となりました。

事業高の伸びは景気に大きく影響されます。従ってセンターとしては、事業高を伸ばす二つの要素が必要です。一つ目は地域のニーズに応えられる会員が当センターに必要な人数揃っているか。二つ目は市内における当センターの認知度が市民、事業所、官公庁などお仕事を発注いただく方々に十分浸透しているかです。すなわち、会員増強と知名度を上げる広報活動です。この

二つにセンターが一丸となって積極的に取り組む事業高目標としています。

(2)会員の増強 会員数の目標： 2,350人

平成28年度は、目標を2,300人とし、会員拡大PRチラシの全戸配布並びに入会説明会、研修会の改善に取り組みましたが、目標には58人及びませんでした。

本年度は昨年につき会員拡大への積極的な取り組みとして、会員一丸となった入会キャンペーンはじめ、「出前入会説明会」等も検討実施することでの目標値を設定しました。

(3)就業率の向上 就業率の目標： 80%

センターでは、できるだけ多くの会員の皆さんに就業いただくために、就業率の向上に努力します。

未就業会員の減少の取り組みは、新たな受注の確保とワークシェアリングの推進です。

今年度も更にワークシェアリングを進めると共に、会員データの更新、就業相談等の充実を行い就業実人員の増加を図り就業率80%を目指します。

3. 具体的な取組み

(1)地域ニーズに応える就業開拓活動の推進【就業開拓委員会】

① 基本方針

様々な広報媒体を活用し、積極的な就業先開拓の推進を行う。

② 具体的な取組み

- ・全市展開の取組みとして、会員が一体となった「1会員1就業開拓運動」を引き続き行う。
- ・新規事業所にセンター事業のPRを行う。
- ・入手情報、顧客ニーズを受注に結び付ける研究・検討を行う。
- ・独自事業の研究を重ね具体化を検討する。
- ・役員の事業所訪問を引き続き行う。
- ・就業機会の拡大のために「フェア」「キャンペーン」等、様々な機会を活用し、就業開拓活動を行う。
- ・職種にあったチラシを作成し、対象を絞った配布活動を行う。

(2)健康で安全に就業できる環境づくり【安全委員会】

① 基本方針

「就業も暮らしも安全と健康があればこそ」を基本に、会員一人ひとりが日頃から安全と健康を意識して実践行動されるよう啓発活動に努める。

② 事業目標と具体化方策

安全と健康についての会員意識の向上を図る。

安全パトロール

- ・安全パトロールの実施により、就業現場の状況を把握するとともに、安全な就業環境づくりに対する会員意識の浸透を図る。
- ・危険度が高い除草・剪定の現場を中心にパトロールする。 6回/年
- ・除草・剪定業務では「安全基準」を遵守した、安全装備の着用、整備等、各自での点検とチームでの点検強化を図る。
- ・新たな取り組みとして、除草・剪定班の現場責任者に作業終了報告書に加え「除草・剪定安全チェックリスト」の提出を求める。
- ・事業所についても危険個所の有無確認の点検パトロールを実施する。 2回/年
- ・事故原因の検証と再発防止策について検討する。
- ・新たな取り組みとして、除草・剪定班の現場責任者に作業終了報告書に加え「除草・剪定安全チェックリスト」の提出を求める。

交通安全

- ・交通安全関連講習会開催。 4回/年
- ・自動車運転適正検査等を実施。
- ・地区での交通安全関連講習会の支援を行う。

健康への取り組み

- ・健康講座の開催。 2回/年
- ・シルバークフェア等での体力測定・健康相談の実施等を行う。
- ・高齢者健康診断の勧奨を行う。

救命講習会

- ・センター開催の救命講習会を行う。 1回/年
- ・地区開催の支援を行う。
- ・救命普及指導員の育成を図る。

会員への安全意識の周知

- ・月報を通じて安全・健康に関する啓発を行う。

(3) 衡平で目つ適正な就業の推進【適正就業委員会】

① 基本方針

会員の就業が衡平かつ適正に行われるよう、長期間、長時間就業の是正に取り組む。

② 事業目標と具体化方策

就業日数・就業時間の適正化

厚労省、全シ協の適正就業ガイドラインに沿った就業日数、就業時間の適正化に取り組む。

就業希望会員不足及び未就業者への対応

就業相談の充実について具体策を検討し、就業希望会員不足と未就業会員の解消を図る。

請負・委任・派遣・職業紹介への適正な対応

就業実態を精査し、受注形態が適正でない仕事については顧客の理解を得ながら、派遣への切り替えを進める。

適正就業基準の見直し

適正就業基準を精査検討し、より実情に合うよう見直しを図る。

(4) 地区地域班活動の活発化【地区地域班活動推進委員会】

① 基本方針

地区地域班活動にかかわる情報交換の機会を増やし、活動の活発化や課題解決方策の検討と支援を行う。

② 事業目標と具体化方策

地区活動活発化のための情報共有

- ・リーダー・サブリーダー会議に出席し、各地区の考え方、活動状況等を聴き取り、共通課題の整理や先進事例の紹介などを進める。

地区役員勉強会の実施

- ・新しいリーダー・サブリーダーを中心とした地区活動、地区役員についての勉強会を実施する。

各地区の個別課題解決への支援

昨年度に引き続き、各地区の役員会等に出席し、地区役員との情報交換

により、個別課題の整理や解決方策の検討と支援を行う。

(5) 就業グループの育成と支援【事業推進委員会】

① 基本方針

顧客の満足度を上げ、更なる就業機会の創出を図り、就業現場での会員力の向上を図るための取組みを進める。

② 事業目標と具体化方策

就業会員の組織化

- ・引き続き、組織化の必要な職種を見極め就業チームの組織化を進める。
- ・一人就業の職種に対して、会員間交流会を開催し就業現場での問題点を把握し解決策の検討と支援を行う、
- ・各就業現場からの提案、問題点などを把握、解決し、就業チームの自主運営を支援する。
- ・家事援助、介護補助分野の受け皿となる就業会員の充実を図る。

就業レベルの向上

- ・就業に役立つ各種講習会の実施と参加人員の増加に努める。
- ・会員の就業意識向上のための取組みを検討する。

(6) 組織活動の活発化ならびに情報受発信体制の強化【企画・広報委員会】

① 基本方針

会員が主体となった事業運営体制を確立するために、委員会活動の活発化を支援し、内外情報の受発信体制の強化をめざす。

② 事業目標と具体化方策

広報活動の推進

センターと地区地域と就業グループとの情報交流を活発化する。

- ・月報「シルバーにしのみや」への会員活動や地区活動に係る情報の掲載を進める。
- ・地区地域での広報媒体（地区だよりなど）づくり、催し企画等を支援する。

会員の就業拡大につながる情報収集と発信

広報媒体等を活用し、地域事業所等へのセンター情報の発信を強化する。

- ・会員データ更新システムの定着を進める。

- ・企業向けセミナーなどの企画・開催を検討する。
- ・情報受発信機能向上のためのホームページの改善を進める。

会員活動の活発化

会員活動の一層の活発化を図るために、会員交流や研さん活動を支援する。

- ・研修バスツアー、いきいきシルバーフェアを企画・実施する。
- ・同好会・サークル活動等の運営を支援する。

(7) 会員活動の活性化【総務委員会】

① 基本方針

加入の促進に努めると共に、入会者の定着と退会防止のための啓発活動に取り組む。

② 事業目標と具体化方策

会員の拡大と定着

さまざまな広報媒体の活用、きめ細かな入会勧奨活動の展開により、新しい世代の加入促進と定着を図る。

- ・PRチラシ、路線バス車内案内、市政ニュース等の効果的な活用を検討する。
- ・全会員による会員増強活動への取組み（キャンペーンの継続実施）を進める。
- ・出前説明会を企画・実施する。
- ・60歳代後半と「団塊世代」を対象とした市民の集いの開催（行政・他団体共同企画）を検討する。
- ・入会説明会・研修会において、ビデオの活用や会員体験発表等カリキュラムの工夫。ならびに希望職種の見極めのためのガイダンスの充実を図る。

③ 女性会員の拡充

増加する女性会員の就業機会の拡大やコミュニケーションの場づくりを推進する。

- ・楽しくエアロ、女性の集いの魅力づくりと継続実施に取り組む。
- ・「女性の働き方を考えるグループ」の立ち上げを検討する。

④ 会員への支援

会員の多様な働き方を支援することで、未就業、低就業を理由とした

退会の防止に努める。

- ・就業相談会の継続実施、ならびに新入会員に対して仕事に役立つ講習会への積極的な参加の呼びかけを行う。

⑤ コンプライアンスの推進

法令やセンター規程に対する会員の理解度の向上を図り、個人情報等の適正な運用を行う。

- ・月報等を活用した啓発活動を推進する。

(8)社会貢献・地域貢献活動の積極展開【社会参画推進委員会】

① 基本方針

会員のボランティア活動を通じて、地区・地域の会員間及び地域の住民との交流を図る。

② 事業目標と具体化方策

清掃ボランティア活動

地区地域班の特色を発揮できる清掃ボランティア活動を目指す。

ベルマーク・使用済みインクカートリッジなどの収集活動

- ・ベルマーク・使用済みインクカートリッジ収集活動も5年を経過。その後も国内各地で発生した地震や風水害被害が続いている。本年から支援先を全国の“災害地支援”に方向転換し、具体的な支援先の選定はベルマーク財団に委嘱し収集活動を引き続き行う。
- ・より多くの収集となるよう会員への呼びかけを工夫し、昨年に引き続きベルマークとカートリッジの整理作業についてもシルバー会員全体としての協力、拡大を図る。

地域貢献グループの拡充

ぴよぴよサロン・子ども工作教室、こども将棋大会など地域から期待される事業を引続き行い、市民の方々にセンター活動の周知と参加を呼びかける。

事業を円滑に進めるため下記に力点を置く。

- 1) 参画会員の人数の強化と確保
- 2) 参画する委員のレベルアップ
- 3) 委員会と参画会員グループの連携体制の充実

地域に求められる新しい事業提案を検討

地域の他団体と連携して新しい地域貢献活動を研究、地域のニーズに即した実効性ある活動を目指す。

(9)組織活動の活発化[理事会]

- ① 計画、取組みへの実効性
 - ・理事及び委員会の迅速かつ効率的な事業運営に努める。
- ② 財政安定に向けた取組み
 - ・事務費収入の増加に向け、全会員が就業開拓の取組みに参画できるよう会員の意識の醸成を図り、具体的な取組み計画を策定する。
- ③ 組織運営体制の強化
 - 機能的、効率的な組織運営体制の整備と定着を図る。
 - ・委員会体制の評価、見直しを行う。
 - ・平成31年からの第3次中期計画策定のための準備をすすめる。
- ④ 関係諸団体との連携
 - ・兵庫県、西宮市、全国シルバー人材センター事業協会、兵庫県シルバー人材センター協会からの指導と助言の下、適正な事業展開を進める。
 - ・先進シルバーへの視察や連携に於いて、協力関係を進める。
 - ・西宮市社会福祉協議会、西宮商工会議所、西宮高齢者事業団等の関連機関との連携を図る。

(10)事務の効率化と会員との連携推進【事務局】

- ①(公社)兵庫県シルバー人材センター協会と連携した事業への取組み
 - ・一般労働者派遣事業…(公社)兵庫県シルバー人材センター協会が実施する一般労働者派遣事業(シルバー派遣事業)の実施事業所として、高年齢者の就業に適した臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務に係る雇用を希望する高年齢者にシルバー派遣事業を実施する。また、同協会と緊密な連携を図りながら、高年齢者の多様な働き方の選択肢として実施する。
 - ・有料職業紹介事業…(公社)兵庫県シルバー人材センター協会が実施する有料職業紹介事業の実施事業所として、高年齢者の就業に適した臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務に係る雇用を希望する高年齢者に職業紹介事業を実施する。また、同協会と緊密な連携を図りながら、高年齢者の多様な働き方の選択肢として実施する。
- ②効率的な事務局業務の推進
 - ・会員の登録データの更新を適宜行い、適切な会員情報による就業会員

の検索と就業提供を効果的に行う。

- 職員の業務習熟度やモチベーションの向上のための、各種研修会への参加や事務局内での勉強会を積極的に取り組む。
- 会員並びに就業登録データ管理システムの検証を行い、より効率的なシステム導入について検討する。
- 事業費の支出面においては、削減可能かつ不要、不急なものの洗い直しを行い節減に努める。

③理事会、委員会、地区地域班との連携強化

- 理事会、委員会と連携し事業の進捗を把握し、円滑な事業運営を支援する。
- 広報紙配布事業、公園遊具安全点検事業の円滑な運営を進めるために地区地域班と連携し支援を行う。